

## 課外講習の第2期及びアクティブライティング(夏休み講座)のお知らせ(高Ⅲ)

鷗友教育研究所 担当：中村達幸

第2期課外講習は、以下の要領で行われます。内容等をよく読んで希望する人は申し込んで下さい。

【開設講座】	曜日・時間	講座名
	月曜日 7・8時間目	5. Ⅲ・スーパー英作文
	火曜日 7・8時間目	6. Ⅲ・文法で極める英文解釈
	水曜日 7・8時間目	7. Ⅲ・入試対策古文
	木曜日 7・8時間目	8. Ⅲ・数学
	金曜日 7・8時間目	(9. Ⅲ・現代文) ※申し込みは終了
	夏休み中講座	10. Active Writing

※ 主に予備校等で授業をしている先生が担当します。

【授業内容】 (10を除いて) 主に大学入試問題等を使用した演習。1クール 100分授業×7回

【日程】 第2クール：9月～11月

高3第2期	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
月曜日	9月7日	9月14日	9月28日	10月19日	10月26日	11月2日	11月9日
火曜日	9月8日	9月15日	9月29日	10月20日	10月27日	11月10日	11月17日
水曜日	9月2日	9月9日	9月16日	9月23日	10月21日	10月28日	11月4日
木曜日	9月10日	9月17日	9月24日	10月1日	10月22日	10月29日	11月5日
金曜日	9月4日	9月11日	9月25日	10月23日	10月30日	11月6日	11月13日

※ 場合によっては、遠隔授業になることがあります。

## 【講座内容と講師】

### 5. Ⅲ・スーパー英作文 月曜

【講師】 白石富男

#### 【講座内容】

第1期に引き続き、次の内容で授業を行います。第1期受講生だけでなく、受験勉強をはじめて英作文の重要性に気づいた人の受講も大歓迎です。

内容は以下の通りです。

1. 和文英訳の入試問題演習（国公立の問題の割合が増え、第1期より少し難しくなります）
2. 自由英作文演習（希望者のみ）
3. 文法の解説（和文英訳の解説に必要な項目及び質問・要望があった項目に関して）

なお、2回目より小テストを実施します（これも第1期同様）。出題内容は次の通りです。

1. 基礎編：授業で解説した和文英訳問題
2. 応用編：作文関係の客観問題（整序作文、空所完成、正誤判定など）。比較的新しい大学入試問題の中から出題。

英作文は自分で書いてそれを直してもらった作業を繰り返すことが上達の1番のショートカットです。作文力を上げたい人の参加をお待ちしています。

### 6. Ⅲ・文法で極める英文解釈－入試英文解釈の総仕上げ－ 火曜

【講師】 武谷武志

#### 【講座内容】

第2期の講座では、2つテーマを設定します。

ひとつめは、実際の入試読解問題の演習です。様々な形式の読解問題を扱い、どのような問題形式であっても点が取れるようになる実践的な力を養います。また内容的にもできるだけ近年の入試問題で素材とされやすいテーマを選び、テーマによる苦手意識の克服を目指します。テーマに馴染みがあれば、それだけで難度の高い長文もかなりの程度読みやすくなるためです。

ふたつめは、英文解釈の盲点となる倒置・挿入・省略・共通表現といった、普段の英文解釈学習では主眼的に扱われることの少ない通常英文の変形パターンの習得です。難度の高い英文は修辞技法上、通常の英文パターンに変形を加えることで修辞効果を演出することが多くなります。入試において難度の高い設問として選ばれる英文箇所はどうしても、こういった修辞技法を使用した部分が多くなってしまいます。このような一見すると複雑怪奇で「非文法的」な英文箇所を意識的に主題化し、「文法的」な読解の枠内に入れ、統一的に理解し整理することで英文解釈の盲点を克服することが目標です。

第2期からの受講でも問題ありません。この講座を通じて、どのような英文であっても自信をもって読み解ける本当の読解力を身に付けてください。

### 7. Ⅲ・入試対策古文 水曜

【講師】 百瀬陽平

#### 【講座内容】

時代やジャンルを問わない大学入試古文のオールラウンダーを目指しましょう。具体的には受講生アンケートに基づき志望校の傾向に照準を定め、「共通テスト」対策、国公立の大学別、あるいは学部別の対策になります。例年、希望者には予想問題や添削問題に取り組んでもらっています。限られた時間の中で最大限の効果を上げるための方法と情報を提供するので、ひるむことなく突き進んでください。

## 8. III・高3数学 木曜

**[講師]** 近谷邦彦

**[講座内容]** 単元の壁を取り払い、融合問題に取り組みます。各單元ごとに、共通テスト形式の内容を取り入れながら、共通テスト対策も同時に行います。

第1回 ベクトル(空間)

第2回 整数

第3回 平面図形

第4回 三角関数

第5回 微分

第6回 積分

第7回 総合演習

## (9. III・現代文演習 金曜)

この講座はすでに申し込みが終了しています。

## 10. III・Active Writing

受験問題をベースにした課題作文に取り組み、Native Speaker の先生の添削を受ける講座です。

最近の入試問題では、文理を問わず Writing が出題されます。特に国公立の総合大学では文理同じ問題です。課題提出方式ですから、夏期講習やその他の予定とぶつかる心配もありません。丁寧な添削と詳しい解説付きです。

### こんな人にお勧めです

- 理系の人で、Writing の授業がとれなかった人 (ことに医学部志望者)
- Essay Writing の授業を選択したが、夏休みも授業同様のペースで書いていきたい人
- 学校では文法・和文英訳の授業を選択しているが、応用力をつけたい人

### 説明会に参加しなかった人も申し込めます

7月18日(土) (通常授業の日) Writing のポイントについての講義と第1回課題配付

課題提出 全5回 提出日に次の課題と前回の添削された返却物を受け取る仕組みです。

第1回提出 7月29日(水) (第2回の課題を受け取る)

第2回提出 8月7日(金) (第1回の添削と第3回の課題を受け取る)

第3回提出 8月18日(火) (第2回の添削と第4回の課題を受け取る)

第4回提出 8月25日(火) (第3回の添削と第5回の課題を受け取る)

第5回提出 9月1日(火) (第4回の添削を受け取る。第5回は9月中旬返却)

※ 課題の提出は全てオンラインで行います。

実際の入試では手書きで答案を提出するため、今回の Writing も手書きで提出します。

PDF ファイルに Apple Pencil など直接書き込むか、実際にペン書きした原稿を写真に撮って送る方式です。

## 【申し込み方法】

### 1. 受講料を振り込む

受講料 講座番号 5～8 は全 7 回で、8,400 円。 講座番号 10(Active Writing)は、11,000 円

振り込みには2つの方法がありますが、Aのネットでの振り込みをお勧めします。どちらの方法でも振り込み時に手数料がかかります。

#### A 銀行などの金融機関からネットバンキングで振り込む

〈参照〉[https://www.jp-bank.japanpost.jp/kojin/sokin/furikomi/kouza/kj\\_sk\\_fm\\_kz\\_1.html](https://www.jp-bank.japanpost.jp/kojin/sokin/furikomi/kouza/kj_sk_fm_kz_1.html)

銀行名: ゆうちょ銀行 (金融機関コード: 9900 店番: 019)

店名(支店名): 0一九店(セロイチキュウ店) 預金種目: 当座 口座番号: 0615705

お振込先へのメール送信あるいはメッセージ欄がある場合は

「受講している講座名」(略称でよい)、「生徒の学年・クラス・番号・氏名」をお書き下さい。

※ メールアドレスは下記参照

#### B お近くの郵便局で、郵便振替で払い込む

郵便振替用紙(郵便局にあります)に必要な事項を記入して、窓口で払い込む。

口座番号 00130-7-□615705

1マス分空白

加入者名 鷗友教育研究所 金額 (講習料)円

通信欄 「受講している講座名」(略称でよい)、「生徒の学年・クラス・番号・氏名」を記入

ご依頼人 依頼人の住所・氏名(保護者名でも生徒名でも可)を記入

※ 振り込みの半券は領収書としてご自身で保存しておいてください。

### 2. 別紙の講習申込書に必要な事項を記入して担任の先生に提出する。

下の申込書の提出締め切りは 7 月 22 日(水)。

但し、Active Writing は 7 月 16 日(木)締め切りとします。

## 【備考】

・1回の振り込みあるいは1枚の振替用紙で複数講座の入金をしても結構です。内訳を明記するか、メールでお知らせください。

・既に申し込んである人は今回申し込む必要はありません。(別紙のリスト参照)

・このお知らせプリントは、「<http://ohyu-l1c.com/>」からダウンロードできます。

・質問あるいは締め切りに間に合わなかった場合はメールで問い合わせをしてください

→kyoikuken@ohyu.ed.jp